

# 2023年3月期 決算説明資料

---

レシップホールディングス株式会社

2023年5月30日

# Agenda

01

2023年3月期 通期業績の概要

P3~P14

02

2024年3月期 通期業績予想・配当の状況

P16~18

03

長期ビジョン・中期経営計画の取組状況

P20~P23

【ご参考資料】:P25~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 2023年3月期:通期業績の要約

前年比

売上高 → 横ばい

損益面 ↘ 損失計上



## 輸送機器

Transport Equipment

- 前年にあった新500円硬貨発行に伴う運賃箱の改造需要の剥落。
- バス市場の設備投資需要が回復せず、売上が伸び悩む。
- 鉄道市場、自動車市場は増収。

減収



## 産業機器

(エネルギーマネジメントシステム)

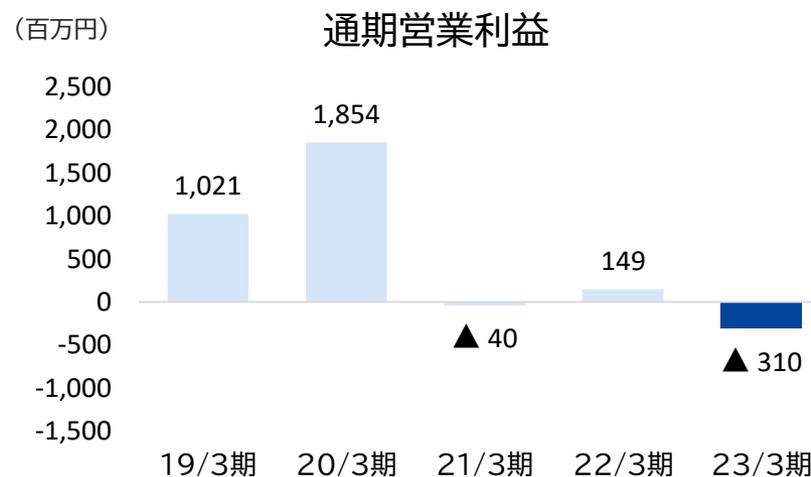
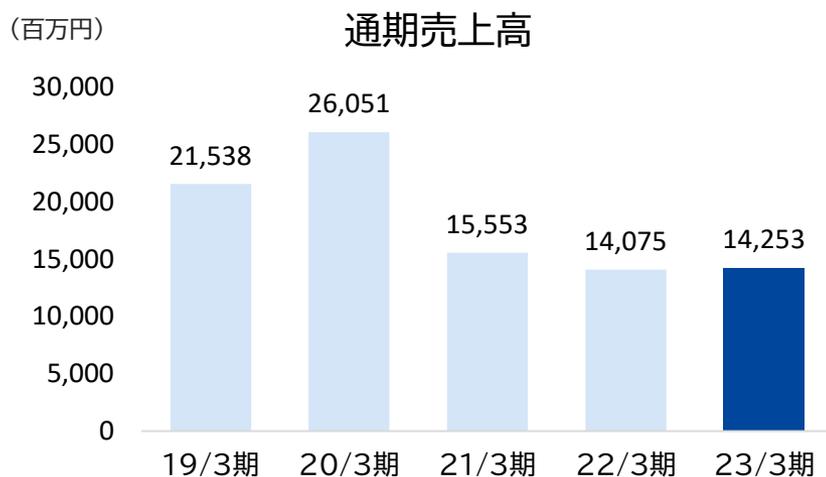
Industrial Equipment  
(Energy Management System)

- 物流市場の活況に伴うフォークリフトの需要増加により、バッテリー式フォークリフト用充電器の増加が売上を牽引。
- 損益面では、価格改定効果が寄与し、前年から損失幅が縮小。

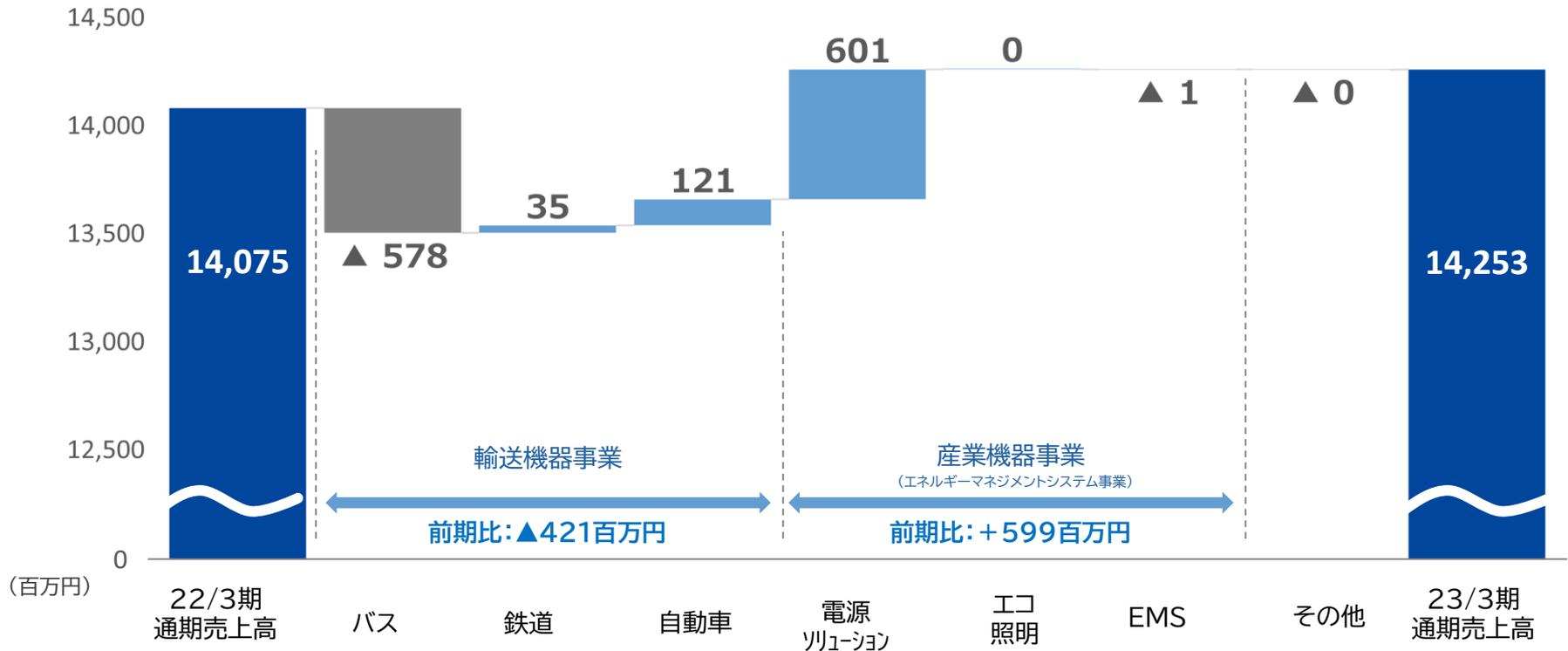
増収

# 2023年3月期:通期業績の要約

連結業績	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	14,075	100.0%	<b>14,253</b>	100.0%	+177	1.3%
売上総利益	3,954	28.1%	<b>3,709</b>	26.0%	▲244	▲6.2%
営業利益	149	1.1%	<b>▲310</b>	▲2.2%	▲459	-
経常利益	325	2.3%	<b>▲207</b>	▲1.5%	▲532	-
当期純利益	53	0.4%	<b>▲249</b>	▲1.8%	▲302	-



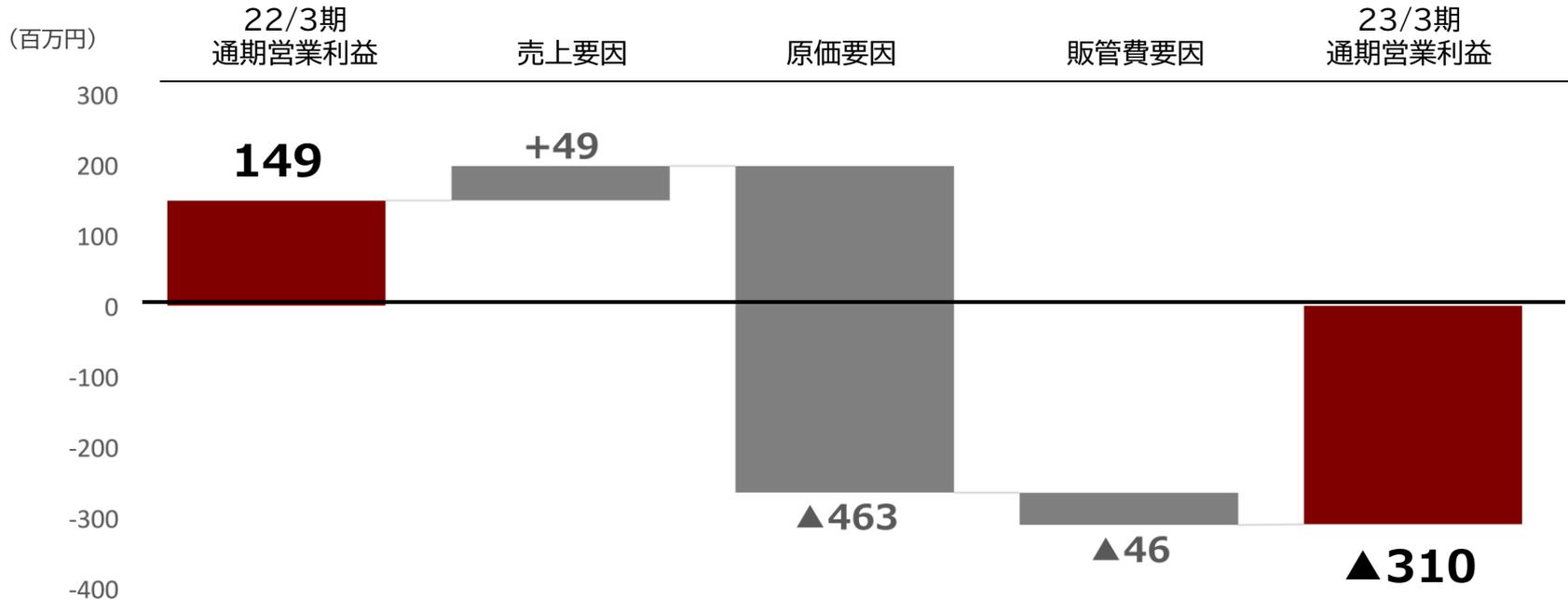
# 2023年3月期:通期 売上高の増減要因



輸送機器事業の減少分を産業機器事業でカバー。

- バス市場では設備投資需要が回復せず、売上が減少。
- 自動車市場では乗用車用LED灯具の売上が増加。
- 電源ソリューション事業ではフォークリフト用充電器、インバータ充電器の売上が伸長。価格改定による効果も売上増加に寄与。

# 2023年3月期:通期 営業利益の増減要因



- 売上要因 : 前年から売上は大きく変動せず。
- 原価要因 : 商品構成の変化、原材料価格高騰に伴い悪化。
- 販管費要因 : 輸送費、電気代等の増加。

※今年度の組織変更に伴い売上原価から販管費へ振替わった影響を除いて試算しております。

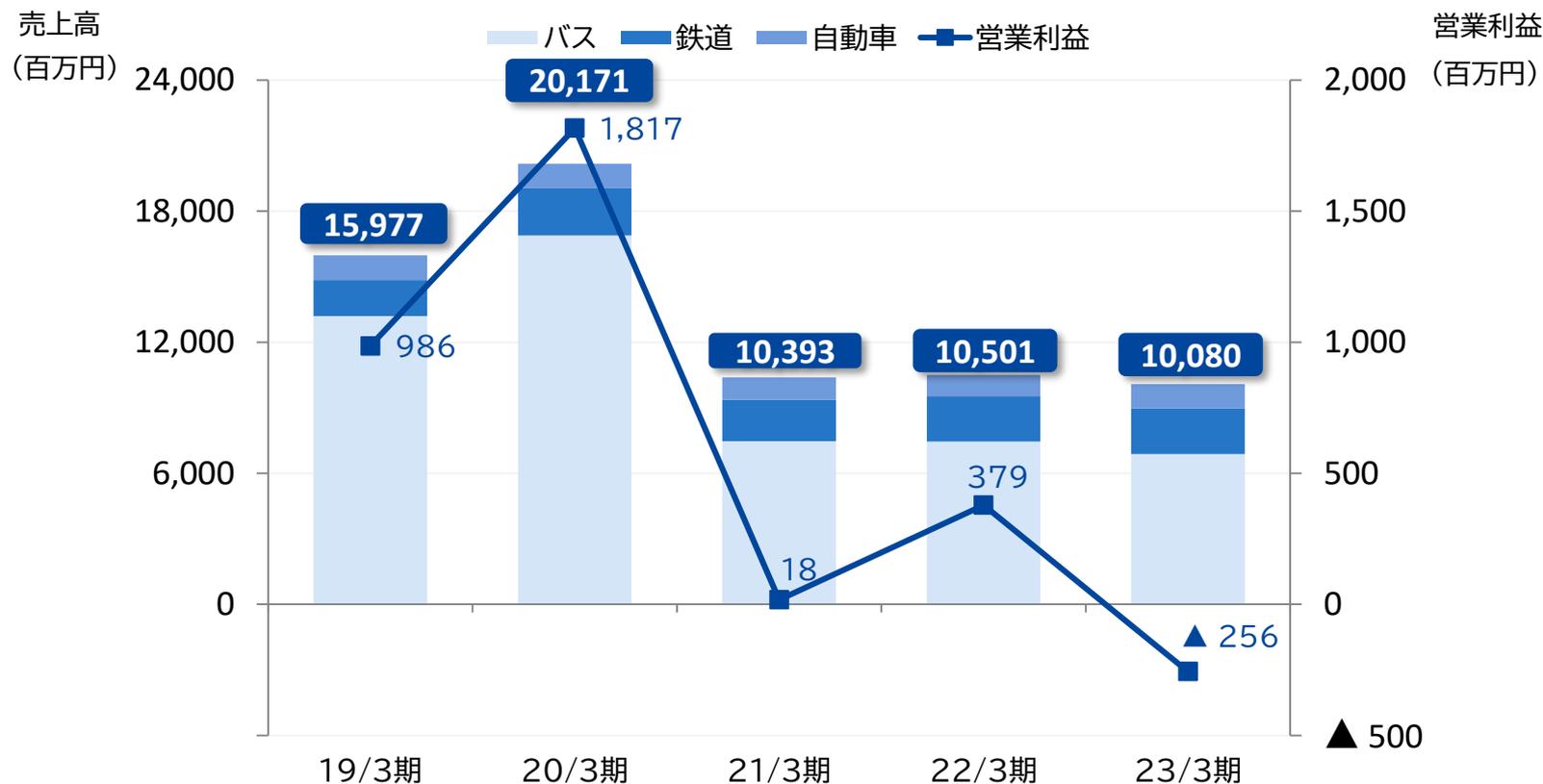
# 2023年3月期:通期セグメント別業績

売上高	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	10,501	74.6%	<b>10,080</b>	70.7%	▲421	▲4.0%
産業機器事業 (エレキ・マネジメントシステム事業)	3,536	25.1%	<b>4,135</b>	29.0%	+599	17.0%
その他事業	37	0.3%	<b>37</b>	0.3%	▲0.2	▲0.6%
連結売上高	14,075	100.0%	<b>14,253</b>	100.0%	+177	1.3%

営業利益	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	379	—	<b>▲256</b>	—	▲635	-
産業機器事業 (エレキ・マネジメントシステム事業)	▲173	—	<b>▲11</b>	—	+162	-
その他事業	6.5	—	<b>8.7</b>	—	+2.1	32.8%
計	212	—	<b>▲258</b>	—	▲470	-
消去・全社	▲63	—	<b>▲51</b>	—	▲11	-
連結営業利益	149	—	<b>▲310</b>	—	▲459	-

# 輸送機器事業：通期業績

## 通期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 4億21百万円 ▲4.0%  
 ■ 営業利益 : 前期比 ▲ 6億35百万円

※ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

# 輸送機器事業：通期業績



## バス市場

**6,879** 百万円 (▲7.8%)

前期比：▲5億78百万円

- ◆ カラーLED式行先表示器、路線バス運行支援ユニット「LIVU」の売上が増加。
- ◆ 前年にあった新500円硬貨発行に係る運賃箱の改造需要が剥落。
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による業界全体の設備投資の抑制傾向が続き、運賃箱やICカードリーダーライタなどの売上が伸び悩む。



## 鉄道市場

**2,099** 百万円 (+1.7%)

前期比：+35百万円

- ◆ 国内では通勤車両・新幹線向け灯具を継続的に受注。
- ◆ 北米向け列車用LED灯具も売上が増加。



## 自動車市場

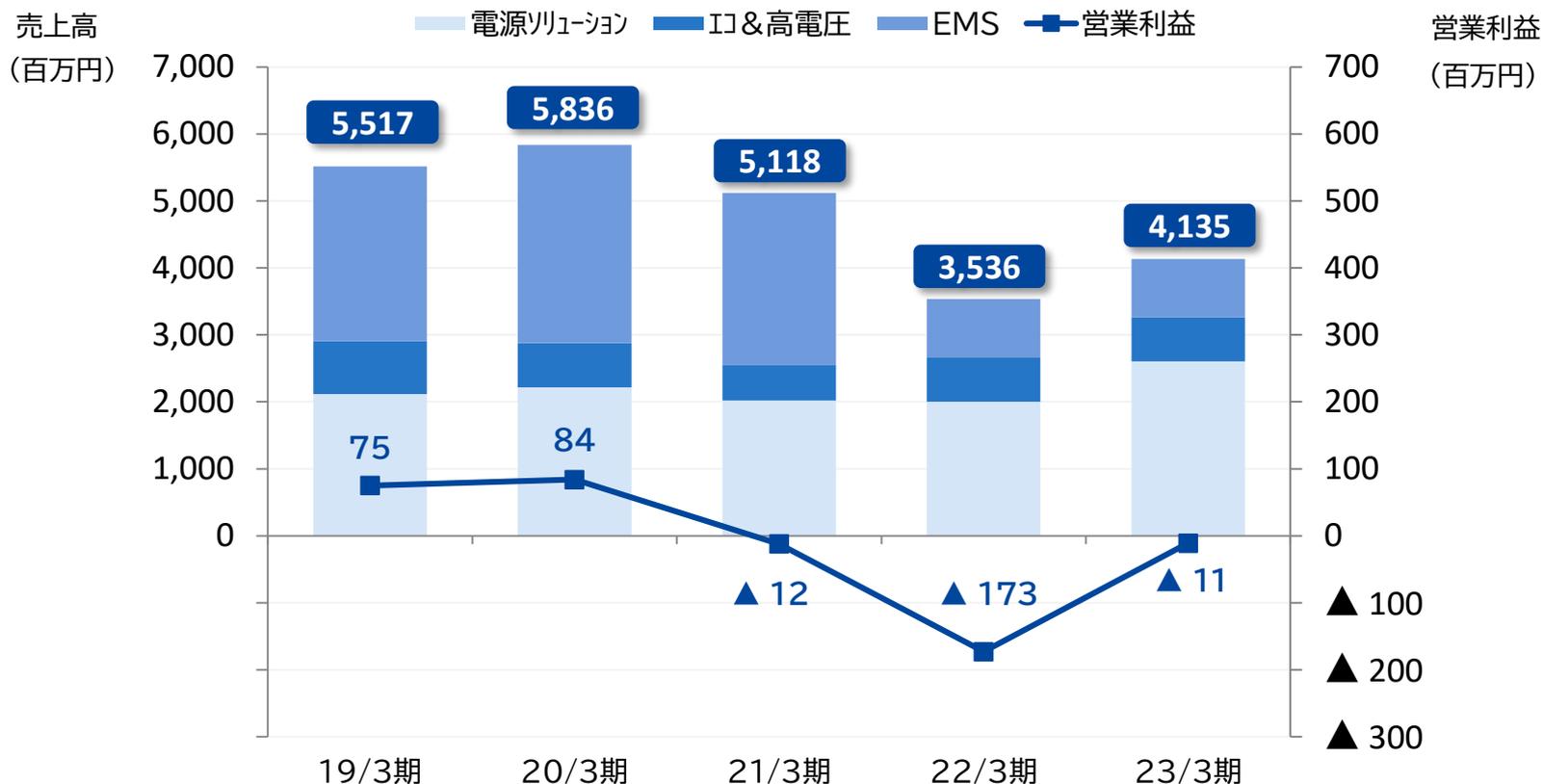
**1,101** 百万円 (+12.4%)

前期比：+1億21百万円

- ◆ 乗用車用LEDの売上が増加。

# 産業機器事業(エネルギー管理システム事業) : 通期業績

## 通期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 + 5億99百万円 +17.0%  
■ 営業利益 : 前期比 + 1億62百万円

※ 2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しております。

# 産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業):通期業績



電源ソリューション市場 **2,602**百万円 (+30.1%)

前期比: +6億1百万円

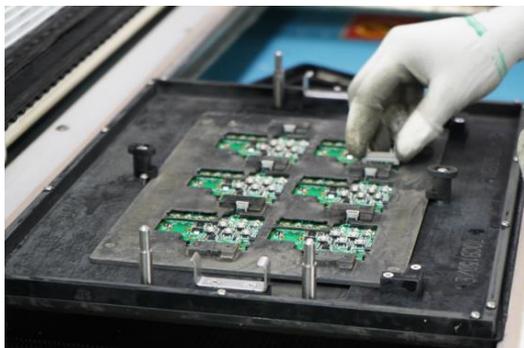
- ◆ バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が増加。
- ◆ インバータ充電器、無停電電源装置の売上が増加。



工照明・高電圧ソリューション市場 **658**百万円 (▲0.1%)

前期比: ▲0百万円

- ◆ 燃焼器具用変圧器の売上が増加したものの、LED電源などの売上が減少。



EMS市場 **874**百万円 (▲0.1%)

前期比: ▲1百万円

- ◆ 産業機器向け基板実装売上が増加したものの、自動車向け基板実装売上が減少。

# 連結損益計算書

【連結P/L】	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	14,075	100.0	<b>14,253</b>	<b>100.0</b>	+177	
売上原価	10,121	71.9	<b>10,543</b>	<b>74.0</b>	+422	
売上総利益	3,954	28.1	<b>3,709</b>	<b>26.0</b>	▲244	
販売管理費	3,804	27.0	<b>4,019</b>	<b>28.2</b>	+215 ※	給料及び賞与・賞与引当金繰入・法定福利費: +119百万円 交通費 : + 36百万円 事務用経費 : + 29百万円 運賃 : + 22百万円
営業利益	149	1.1	<b>▲310</b>	<b>▲2.2</b>	▲459	
営業外収益	210	1.5	<b>142</b>	<b>1.0</b>	▲67	助成金収入 :▲ 36百万円 為替差益 :▲ 32百万円
営業外費用	34	0.2	<b>39</b>	<b>0.3</b>	+5	雑損失: + 5百万円
経常利益	325	2.3	<b>▲207</b>	<b>▲1.5</b>	▲532	
特別利益	-	-	-	-	-	
特別損失	16	0.1	<b>5</b>	<b>0.0</b>	▲11	減損損失 :▲ 7百万円 投資有価証券評価損:▲ 3百万円
税金等調整前純利益	308	2.2	<b>▲212</b>	<b>▲1.5</b>	▲520	
法人税等合計	255	1.8	<b>37</b>	<b>0.2</b>	▲218	
当期純利益	53	0.4	<b>▲249</b>	<b>▲1.7</b>	▲302	

# 連結貸借対照表

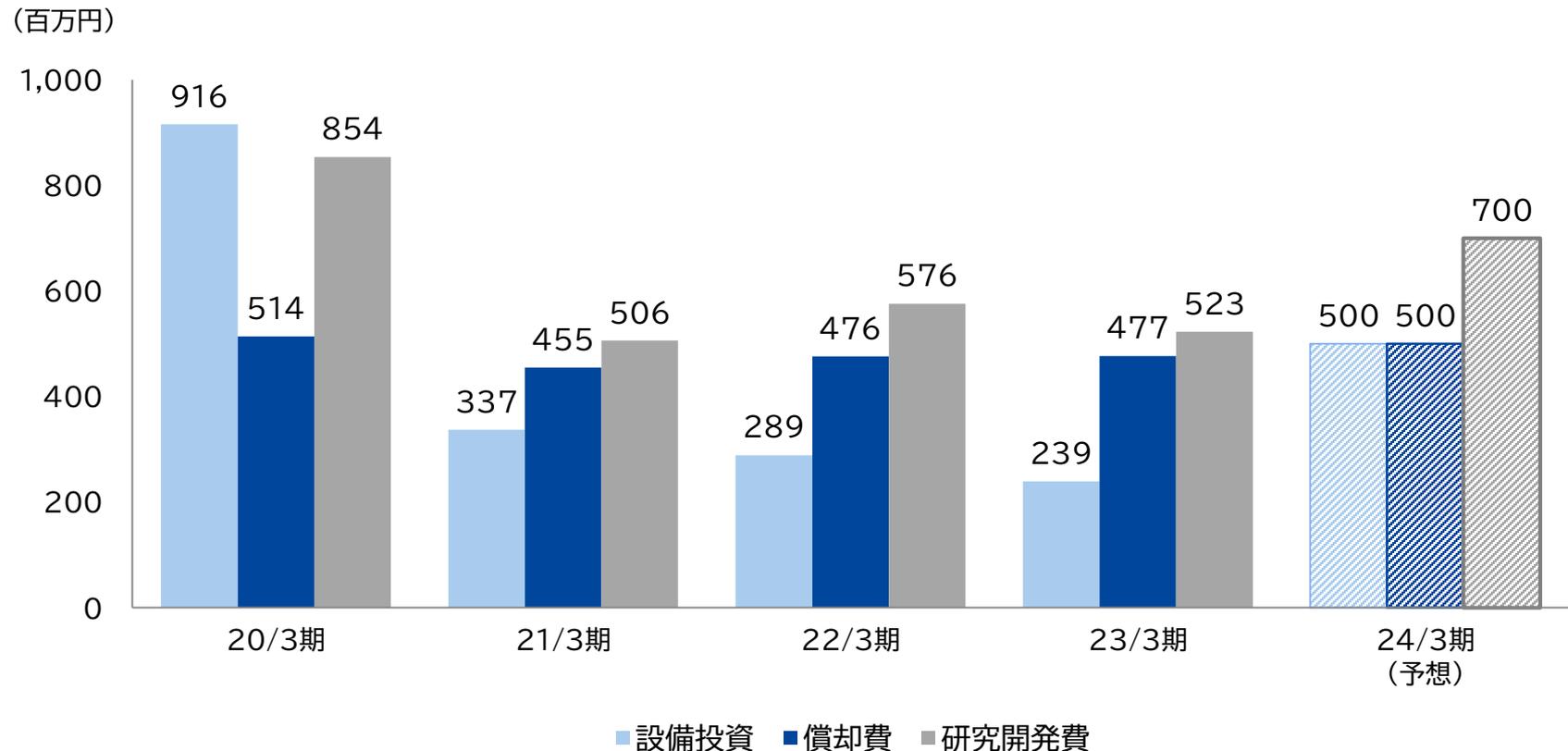
【連結B/S】	2022年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	11,282	78.1	<b>11,826</b>	<b>79.6</b>	+543	原材料及び貯蔵品 :+ 734百万円 商品及び製品 :+ 373百万円 仕掛品 :+ 75百万円 受取手形及び売掛金 :+ 238百万円 現金及び預金 :▲ 915百万円
固定資産	3,167	21.9	<b>3,030</b>	<b>20.4</b>	▲137	無形固定資産 :▲ 120百万円 有形固定資産 :▲ 100百万円 投資有価証券 :+ 109百万円
資産合計	14,449	100.0	<b>14,856</b>	<b>100.0</b>	+406	
流動負債	8,419	58.3	<b>9,106</b>	<b>61.3</b>	+686	短期借入金 :+ 868百万円 支払手形及び買掛金 :+ 185百万円 電子記録債務 :+ 121百万円 未払消費税等 :▲ 264百万円 未払法人税等 :▲ 254百万円
固定負債	1,255	8.7	<b>1,061</b>	<b>7.1</b>	▲193	株式付与引当金 :▲ 201百万円
負債合計	9,674	67.0	<b>10,167</b>	<b>68.4</b>	+492	
純資産合計	4,775	33.0	<b>4,688</b>	<b>31.6</b>	▲86	利益剰余金 :▲ 318百万円 自己株式 :▲ 267百万円
負債・純資産合計	14,449	100.0	<b>14,856</b>	<b>100.0</b>	+406	

# 研究開発費、設備投資、償却費の推移

23/3期 通期実績

■設備投資 機械及び装置、ソフトウェア、リース資産、工具器具備品等 等

■研究開発費 新たなキャッシュレス決済手段への対応、デジタルサイネージシステムの開発 等



# Agenda

01

2023年3月期 通期業績の概要

P3~P14

02

2024年3月期 通期業績予想・配当の状況

P16~18

03

長期ビジョン・中期経営計画の取組状況

P20~P23

【ご参考資料】:P25~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 事業セグメント別 事業環境認識

新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・更新需要を見込むほか、海外売上も継続的に売上計上見込み。移動ニーズやインバウンドの回復、物流市場の活況など、事業環境の明るい兆しを追い風に、売上伸長・シェアアップを図る。

## 輸送機器事業

- 2024年上期に予定されている新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・更新需要を見込む。新紙幣関連の売上は、数年にかけて計上される見通し。（→P18）
- 移動需要、インバウンドの回復に対し、乗客の利便性向上のための設備投資意欲回復も見込む。
- 海外市場では、米国において、ニューヨークの地下鉄車両用灯具の納入を継続的に予定しているほか、カリフォルニア州のバス事業者様向け運賃箱の売上計上も予定。
- シンガポールでのEVバス導入に伴う表示器など関連製品の売上増加。

## 産業機器事業

(エネルギーマネジメントシステム)

- 物流市場の好調を背景に、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が堅調。
- インバータ充電器(AGV向け充電器)、無停電電源装置の拡販を推進。
- 通期で価格改定効果の寄与を見込む。
- 製造業の国内回帰傾向を受け、基板実装売上の増加を見込む。

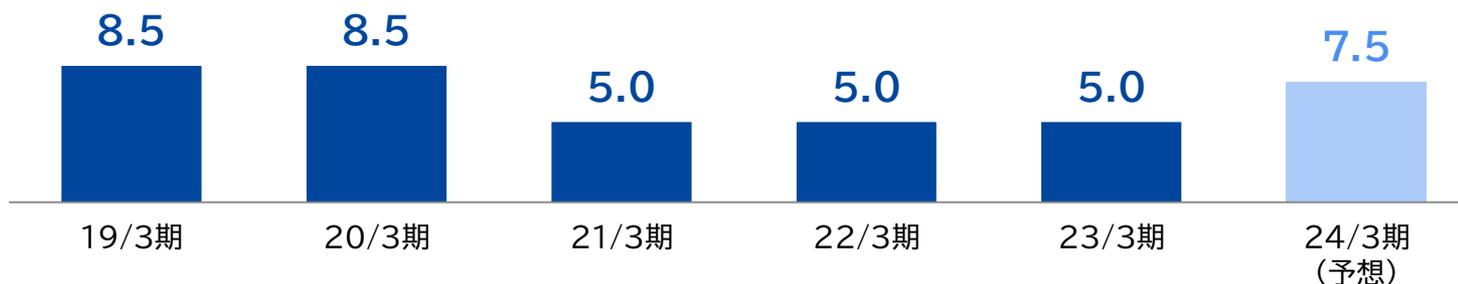
# 2024年3月期:通期業績予想・配当の状況

## ● 業績予想は大幅に増収増益の見通し

(単位:百万円)

連結業績	2023年3月期 通期		2023年3月期 通期			
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	14,253	100.0%	19,000	100.0%	+4,746	33.3%
営業利益	▲310	▲2.2%	1,000	5.3%	+1,310	-
経常利益	▲207	▲1.5%	950	5.0%	+1,157	-
当期純利益	▲249	▲1.8%	450	2.4%	+699	-

## ● 業績回復を背景に、配当予想7円50銭を計画



# トピックス — 新紙幣対応

2024年度上期を目途に、20年ぶりの新紙幣発行が予定されている。

## ■新紙幣イメージ



(参考)財務省



新紙幣はバス車内でのICカードへの積み増しに利用されるため、全国規模で需要の増加が予想される。

### ▶ 売上計上の見通し

2024年度上期(2025年3月期):新紙幣発行

- 2024年3月期下期:  
⇒ 運賃箱改造・ソフト改修を中心に需要が増加見込み  
(運賃箱を交換しないケース)
- 2025年3月期～2026年3月期:  
⇒ 運賃箱の更新を中心に需要が増加見込み  
(運賃箱自体を交換するケース)

# Agenda

01

2023年3月期 通期業績の概要

P3~P14

02

2024年3月期 通期業績予想・配当の状況

P16~18

03

長期ビジョン・中期経営計画の取組状況

P20~P23

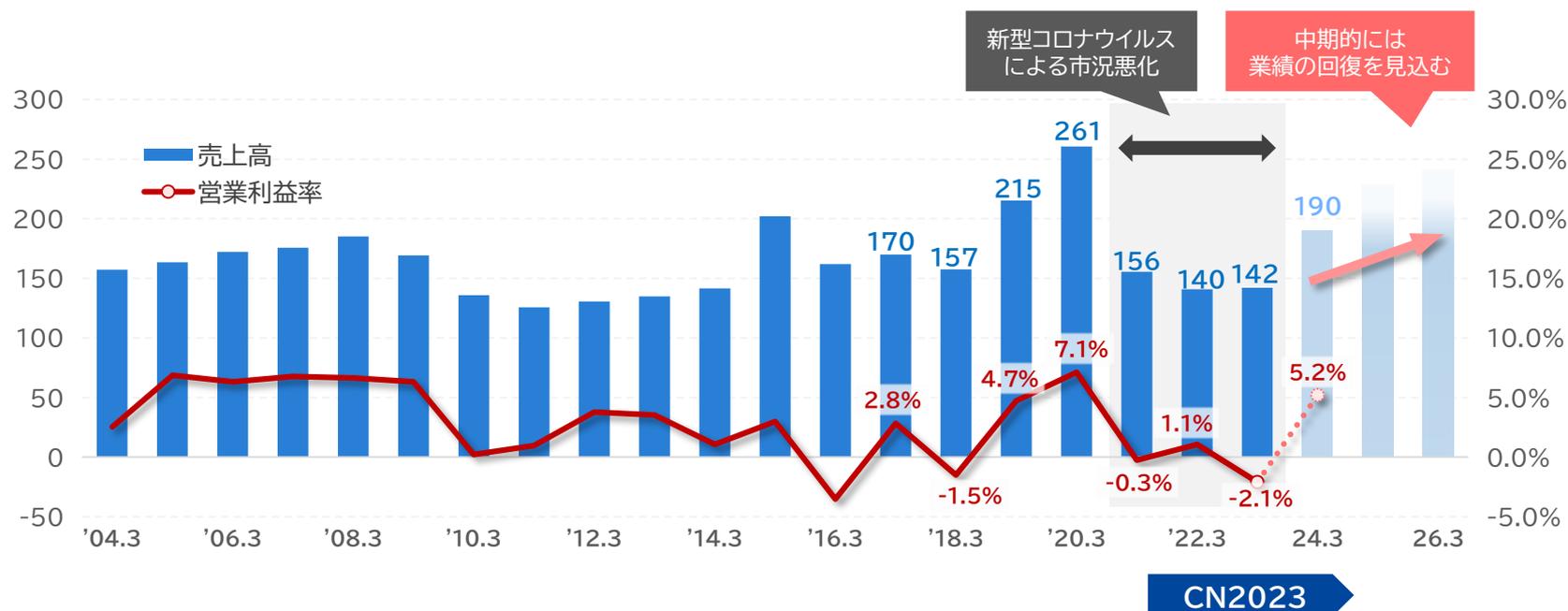
【ご参考資料】:P25~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# 中期経営計画「CN2023」について

コロナによる影響が直撃し、売上・利益ともに厳しい状況が続いた。  
新紙幣関連売上、海外売上の増加により、中期的には業績の回復を見込む。

	CN目標	22/3期		23/3期		24/3期	
		実績		実績		予想	
売上高	200億円	140億円	×	142億円	×	190億円	×
営業利益	5%	1.1%	×	▲3.2%	×	5.2%	○
ROE	8%	1.1%	×	—	×	約9%	○



# 海外市場における事業拡大

北米において、バス市場・鉄道市場ともに実績を獲得。



## ▶ バス用AFC(運賃収受)システム

- 2019年9月:バス事業者様の幅広いニーズに対応可能な、新型運賃箱を市場投入。
- 2023年3月より開始したカリフォルニア州のバス事業者様へのバス用AFCシステム納入(運賃箱182台含む)が完了。今期(24年3月期)で売上計上。
- 2023年5月、ハリス郡都市交通局METRO(テキサス州ヒューストン)より、バス用AFCシステム(運賃箱約1,400台含む)の受注が内定。海外事業では、史上最大規模の案件。

北米の公共交通では入札にあたり実績が重視される。

→カリフォルニア州での実績が、テキサス州ヒューストンのバス事業者における大型案件の受注内定につながった。



## ▶ 鉄道車両用灯具

- 19/3期に、NYの地下鉄車両向け照明灯具の大型案件を受注。(ベース車両535両の契約を受注済)
- 23/3期より本格納入が始まる。  
オプションが行使されれば27/3期までに最大1,612両への納入を予定。
- 国内車両メーカー様との連携を強化し、海外案件の獲得を目指す。

公共交通の需要が高まる海外市場での売上拡大を目指す

# モノ+コトへの新たな事業展開



導入事例：東京駅八重洲口JRバスターミナル発着案内表示システム

## ▶ LECIP CMP:コンテンツ・マネージメント・プラットフォーム

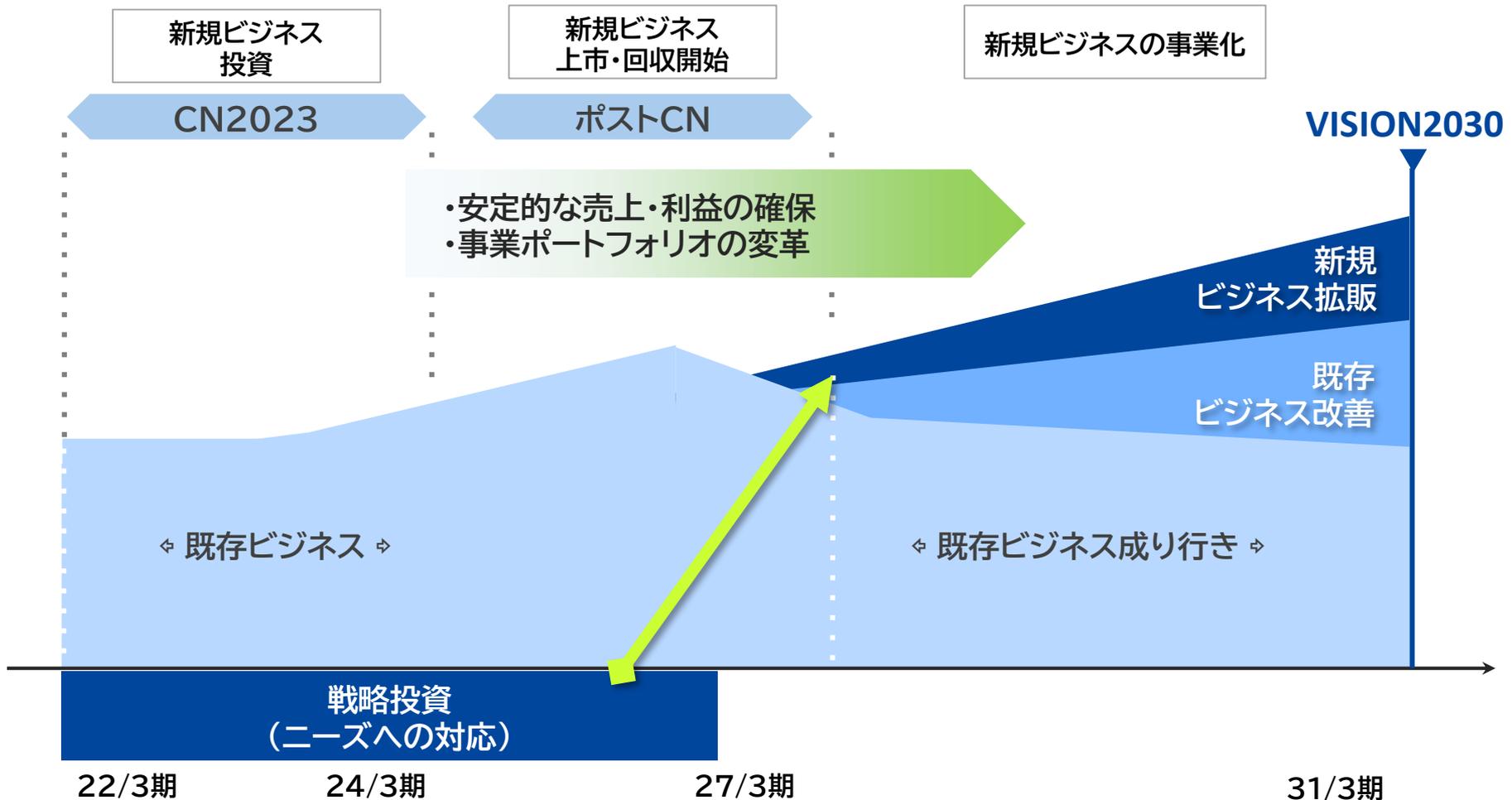
複数の拠点から配信される タイムテーブル や 緊急情報 など、  
即時性が求められる情報や、 広告動画 などのコンテンツをクラウドに集積し、  
遠隔地にある多数の表示器に自在なレイアウトで表示させることができる  
クラウド型のデジタル情報配信プラットフォーム

バス・鉄道事業者様をターゲットとし、そしてその先に  
広がる、人のにぎわう場所での活用も視野に入れ、  
CMPの拡販と更なるサービス強化に取り組む



# 中長期的な成長イメージ

現中期経営期間で投資した育成分野(新規ビジネス)の成長により、事業構造の変革を目指し、2030年のビジョン達成につなげる。



# Agenda

01

2023年3月期 通期業績の概要

P3~P14

02

2024年3月期 通期業績予想・配当の状況

P16~18

03

長期ビジョン・中期経営計画の取組状況

P20~P23

【ご参考資料】:P25~P32

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

# LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

レシップ株式会社

レシップ電子株式会社

レシップエンジニアリング株式会社

LECIP INC.

LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

LECIP THAI CO., LTD.

LECIP ARCONTIA AB



会社名 レシップホールディングス株式会社  
(LECIP HOLDINGS CORPORATION)

設立 1953年3月

代表者 代表取締役社長 杉本 眞

本社所在地 岐阜県本巣市上保1260番地の2

資本金 11億9,095万円

発行済株式総数 14,178,200株

上場証券取引所 東証プライム、名証プレミア (証券コード:7213)

連結対象会社 8社 (国内4社、海外4社)

連結従業員数 590名 (国内:558名、海外32名)

2023年3月末時点



JAPAN



USA



SINGAPORE



THAILAND



SWEDEN

# 2023年3月期 通期の事業セグメント別売上高

23/3期 連結売上高:14,253百万円

産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)

**29.0%**

**4,135**百万円

バッテリー式フォークリフト用充電器  
屋外用無停電電源装置  
LED電源  
直管型LEDランプ  
ネオン変圧器  
プリント基板実装事業

輸送機器事業

**70.7%**

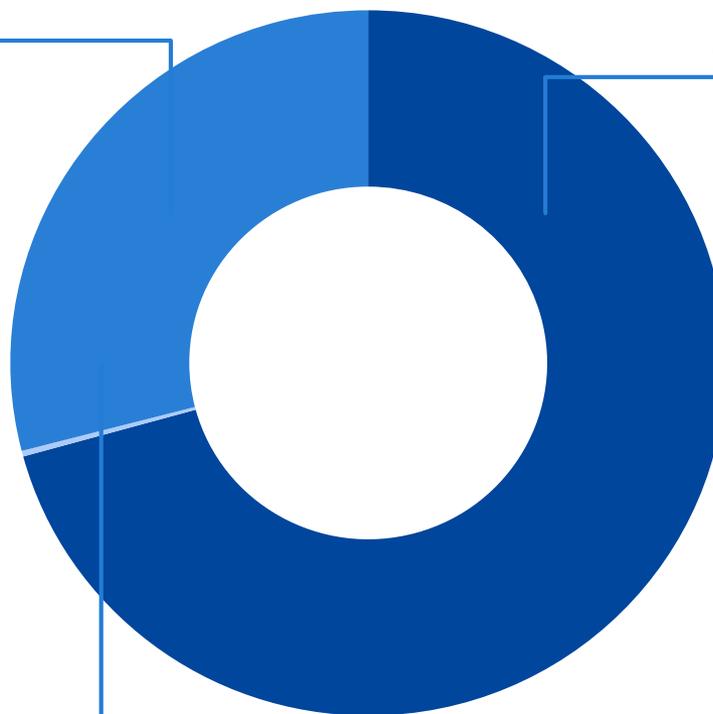
**10,080**百万円

バス・鉄道用運賃箱  
ICカードシステム  
OBC(液晶表示器)  
LED式行先表示機器  
車載用照明機器

その他

**0.3%**

**37**百万円



# 主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480	14,157
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477	151
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)	(1.1)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526	164
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)	(1.2)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292	▲98
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)	(▲0.7)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791	12,677
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755	4,614
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)	(36.4)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43	▲9.05
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8	▲2.1
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69	422.21

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

# 主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 (予想)
売上高	20,215	16,203	16,985	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075	14,253	19,000
営業利益	603	▲571	483	▲235	1,021	1,854	▲40	149	▲310	1,000
営業利益率 (%)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(4.7)	(7.1)	(▲0.3)	(1.1)	(▲2.2)	(5.3)
経常利益	779	▲649	354	▲248	1,030	1,830	35	325	▲207	950
経常利益率 (%)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(4.8)	(7.0)	(0.2)	(2.3)	(▲1.5)	(5.0)
当期純利益	227	▲1,378	50	▲454	438	891	▲124	53	▲249	450
当期純利益率 (%)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.0)	(3.4)	(▲0.8)	(0.4)	(▲1.7)	(2.4)
総資産	14,431	13,173	13,048	12,465	16,445	14,791	15,129	14,449	14,856	—
純資産	4,637	3,277	3,499	2,985	3,427	5,078	4,912	4,775	4,688	—
自己資本比率 (%)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(24.0)	(20.8)	(34.3)	(32.5)	(33.0)	(31.6)	—
EPS(円)	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	38.75	74.39	▲9.77	4.16	▲19.19	33.26
ROE (%)	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	13.7	21.0	▲2.5	1.1	▲5.3	—
BPS(円)	422.30	297.03	315.51	267.56	301.92	398.64	385.17	371.56	346.64	—

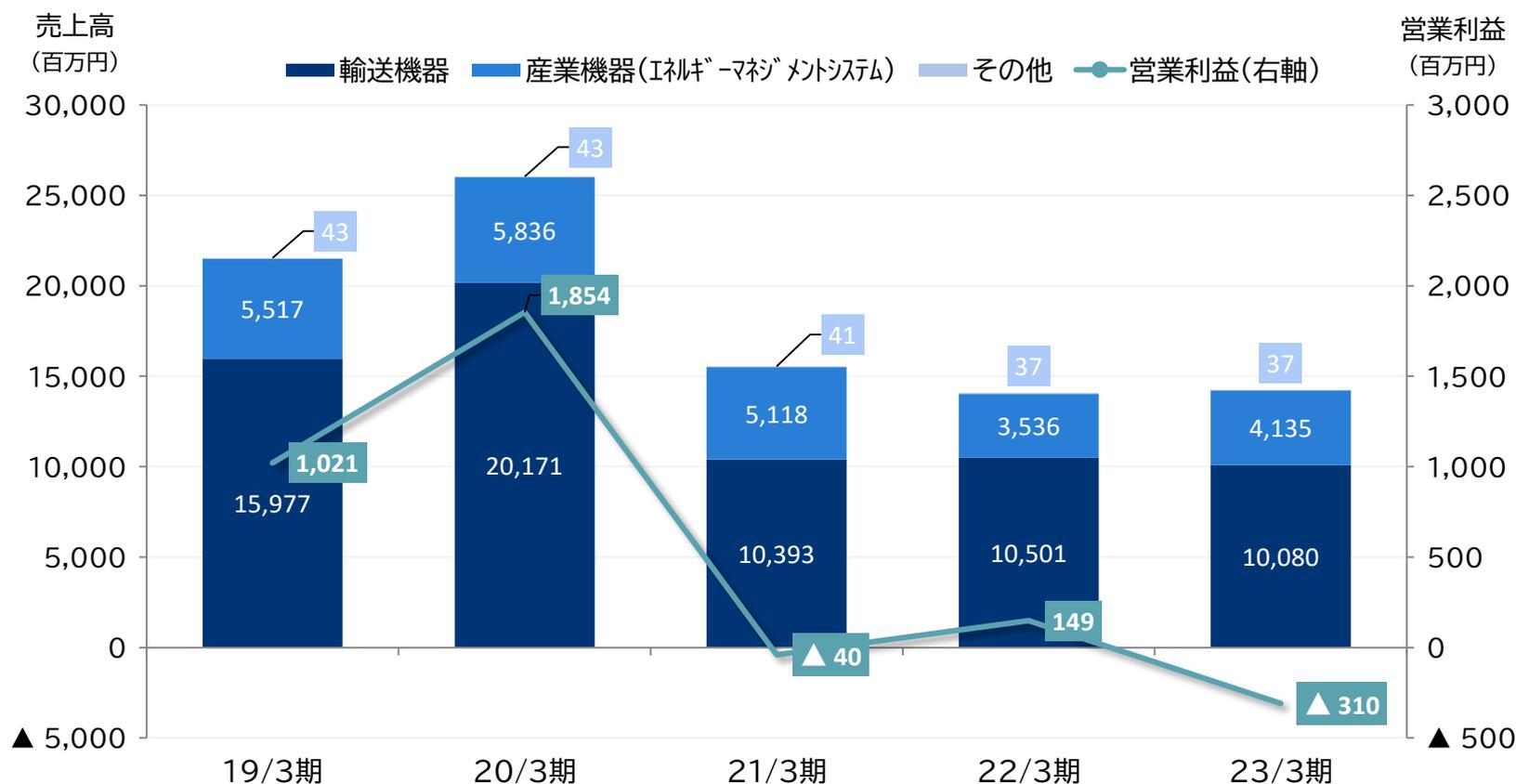
※ 2020年3月期に、新株発行(138万株)増資を行っております。

※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び  
企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

# 年間業績の推移

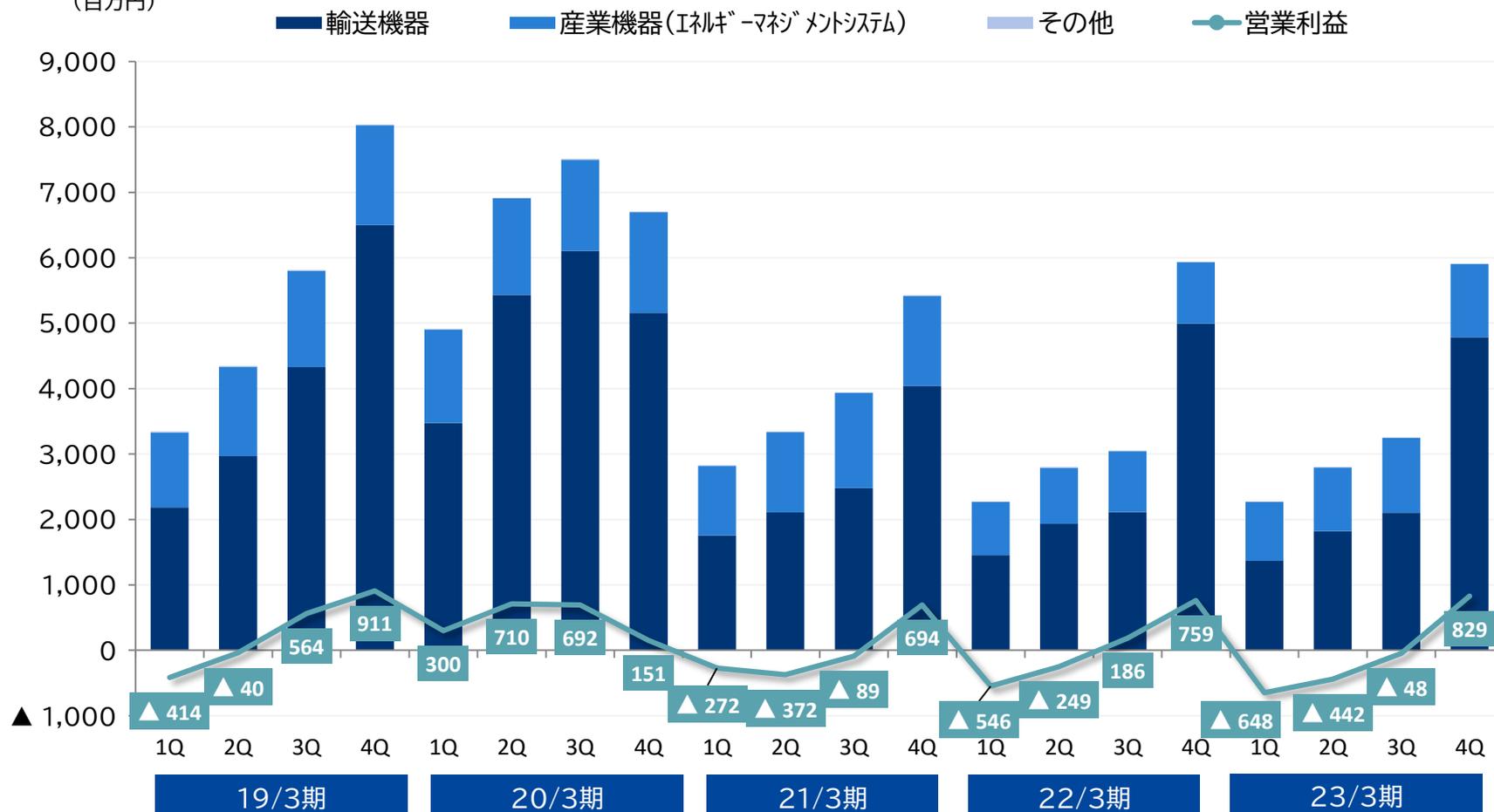
(単位:百万円)

	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期
売上高	21,538	26,051	15,553	14,075	14,253
営業利益	1,021	1,854	▲40	149	▲310



# 四半期業績の推移

売上高・営業利益  
(百万円)



# 四半期業績の推移

(単位:百万円)

売上高	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q												
輸送機器	3,476	5,431	6,104	5,159	1,757	2,110	2,482	4,042	1,458	1,935	2,113	4,993	1,369	1,821	2,102	4,787
産業機器 (「エネギ」-マネジメントシステム)	1,427	1,478	1,394	1,536	1,062	1,225	1,454	1,376	812	856	929	938	901	973	1,143	1,117
その他	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9
<b>売上高合計</b>	<b>4,914</b>	<b>6,920</b>	<b>7,509</b>	<b>6,706</b>	<b>2,831</b>	<b>3,347</b>	<b>3,947</b>	<b>5,427</b>	<b>2,279</b>	<b>2,801</b>	<b>3,052</b>	<b>5,941</b>	<b>2,279</b>	<b>2,803</b>	<b>3,255</b>	<b>5,914</b>

営業利益	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	268	664	709	175	▲215	▲343	▲116	693	▲466	▲168	169	846	▲542	▲377	▲98	761
産業機器 (「エネギ」-マネジメントシステム)	44	57	▲4	▲13	▲42	▲16	34	10	▲64	▲77	31	▲62	▲93	▲54	61	74
その他	1	1	0	▲1	1	2	2	1	1	2	1	1	2	2	2	1
全社・消去	▲14	▲13	▲12	▲9	▲16	▲14	▲10	▲11	▲16	▲5	▲15	▲25	▲14	▲14	▲14	▲8
<b>営業利益合計</b>	<b>300</b>	<b>710</b>	<b>692</b>	<b>151</b>	<b>▲272</b>	<b>▲372</b>	<b>▲89</b>	<b>694</b>	<b>▲546</b>	<b>▲249</b>	<b>186</b>	<b>759</b>	<b>▲648</b>	<b>▲442</b>	<b>▲48</b>	<b>829</b>

# LECIP GROUP

## レシップホールディングス株式会社

---

【資料お問合せ先】 管理本部 経営管理部 電話番号 : (058)324-3121

---

### 将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。